

平成21年6月15日

- 京阪沿線の大阪・中之島と京都・岡崎に“ルーヴル美術館展”がやってくる -

京阪沿線での「ルーヴル美術館展」開催をPRし、旅客誘致を図ります！

- ・オリジナルヘッドマークを中之島～出町柳を結ぶ3000系車両に掲出
- ・割引入場券を当社主要駅で発売
- ・沿線情報誌「K P R E S S」でルーヴル美術館展特集を実施

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区、社長：上田 成之助）では、京阪沿線の国立国際美術館（最寄駅：京阪電車 渡辺橋駅）と京都市美術館（最寄駅：京阪電車 神宮丸太町駅）で、6月から9月までのほぼ同時期に、フランスのルーヴル美術館が収蔵している絵画などを展示する「ルーヴル美術館展」が開催されることを受け、オリジナルヘッドマーク掲出などのPR活動を行い、京阪沿線での「ルーヴル美術館展」開催を盛り上げ、旅客誘致につなげます。

ルーヴル美術館展が開催される両美術館のある中之島と京都を、快速急行（3000系車両）が直通運転でつないでいることから、6月30日（火）から9月23日（水・祝）まで、3000系車両（全6編成）に、オリジナルヘッドマークを掲出します。ヘッドマークデザインは前後で異なり、大阪方面側の先頭車両には「国立国際美術館」、京都方面側の先頭車両には「京都市美術館」での展覧会名を記載したデザインとなっています。

また、同展覧会期間中、両施設で行われる「ルーヴル美術館展」のお得な割引入場券を当社主要駅で販売するほか、当社が毎月発行している沿線情報誌「K P R E S S（8月号）」で「ルーヴル美術館展特集」を行うなど、様々な場面でルーヴル美術館展をPRしていきます。

各取り組みの概要は別紙のとおりです。



オリジナルヘッドマークを付けた3000系車両（イメージ）

(別紙)

1. ルーヴル美術館展オリジナルヘッドマーク

掲出期間 平成21年6月30日(火)～平成21年9月23日(水・祝)

掲出車両 3000系車両

運転区間 中之島 出町柳駅間

快速急行停車駅・・・中之島、渡辺橋、大江橋、なにわ橋、天満橋、京橋、守口市、寝屋川市、香里園、枚方市、樟葉、中書島、丹波橋、七条、祇園四条、三条、出町柳

神宮丸太町駅は三条駅で準急・普通にお乗り換えください。

列車運用上、上記と異なる区間を運転する場合があります。

デザイン 大阪方面側の先頭車両には「国立国際美術館」、京都方面側の先頭車両には「京都市美術館」のヘッドマークを掲出します。



「大阪方面側」ヘッドマーク



「京都方面側」ヘッドマーク

2. 割引入場券販売

展覧会名称	「ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち」	「ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画」
開催場所 (最寄駅)	国立国際美術館 (京阪電車 渡辺橋駅から徒歩約5分)	京都市美術館 (京阪電車 神宮丸太町駅から徒歩約20分)
割引入場券 発売期間	平成21年6月23日(火)～ 平成21年9月23日(水・祝)	平成21年6月30日(火)～ 平成21年9月27日(日)
発売金額	大人(一般) 1,300円 大学生 1,000円 高校生 600円 中学生以下は無料	大人(一般) 1,400円 高大生 900円 小中生 400円
発売場所	中之島、渡辺橋、淀屋橋、天満橋、京橋、守口市、寝屋川市、香里園、枚方市、樟葉、中書島、丹波橋、祇園四条、三条、浜大津の各駅事務室。その他、京阪交通社営業所などでも発売。	

3. 「K PRESS」でのルーヴル美術館展特集

媒体名 K PRESS (8月号)

発行日 平成21年7月27日(月) 予定

発行部数 150,000部

設置箇所 京阪沿線の主要駅ほか、京阪グループ施設など

特集内容 国立国際美術館、京都市美術館それぞれのルーヴル美術館展について、ルーヴル美術館コミッショナーによる見どころ紹介や作品解説を掲載。また、ルーヴル美術館展鑑賞後に行きたいカフェやレストランなどもあわせて紹介予定。

【ご参考：ルーヴル美術館展概要】

〈ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち〉

主 催 者	国立国際美術館、ルーヴル美術館、朝日新聞社、朝日放送
開 催 場 所	国立国際美術館（最寄駅：京阪電車 渡辺橋駅）
主な展示内容	子どもが美術の中でどのように表現され、作品の創造にどのような刺激を与えてきたかを、古代から19世紀前半まで、ヨーロッパからエジプト、オリエントにまで視野を広げながら、ルーヴル美術館の7部門から厳選した約200点の作品によって紹介。
開 催 期 間	平成21年6月23日(火)～平成21年9月23日(水・祝)
休 館 日	月曜日 7月20日(月・祝)は開館、翌21日(火)は休館、9月21日(月・祝)は開館
当 日 券	大人（一般） 1,500円 大学生 1,200円 高校生 800円 中学生以下は無料

〈ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画〉

主 催 者	京都市美術館、ルーヴル美術館、讀賣テレビ放送株式会社、読売新聞大阪本社
開 催 場 所	京都市美術館（最寄駅：京阪電車 神宮丸太町駅）
主な展示内容	ヨーロッパ絵画史上「黄金の世紀」と呼ばれる17世紀。その多様な側面を、「黄金の世紀」とその陰、旅行と「科学革命」、「聖人の世紀」と古代文化という3つの章に分けて紹介。フェルメール レースを編む女、レンブラント 縁なし帽をかぶり、金の鎖を付けた自画像、プッサン 川から救われるモーセ、ラ・トゥール 大工ヨセフ など、ルーヴル美術館の至宝71点を展示。
開 催 期 間	平成21年6月30日(火)～平成21年9月27日(日)
休 館 日	月曜日 7月20日(月・祝)、9月21日(月・祝)は開館
当 日 券	大人（一般） 1,500円 高大生 1,000円 小中生 500円

以 上